

平成 24 年 10 月末現在

■ 支援状況まとめ

● 義援金支援

お寄せいただいた義援金のうち 9,000,000 円を社会福祉法人山陽新聞社会事業団へ寄託しました。(平成 23 年 3 月 30 日)

お寄せいただいた義援金のうち 4,000,000 円を社会福祉法人山陽新聞社会事業団へ寄託しました。(平成 23 年 4 月 13 日)

お寄せいただいた義援金 1,163,150 円は、社会福祉法人山陽新聞社会事業団へ寄託しました。(平成 23 年 5 月 12 日)

義援金の累計は、14,163,150 円となりました。東日本の復興を願う皆さまの篤志に敬意を表するとともに、関係各位のご協力に感謝いたします。

● 医療等支援

【岡山大学病院医療スタッフ派遣】

岩手県の実情を受け、救急科医師、ICU看護師、運転手(委託)のチーム編成を基本に第 1 班から第 12 班まで、総勢 73 名が平成 23 年 3 月 16 日から平成 23 年 4 月 21 日までの間、岩手県遠野市で医療支援活動を行いました。

中国・四国ブロックの国立大学附属病院は、岩手県の実情を受け、岩手県立高田病院整形外科への医師派遣を平成24年9月末まで実施しました。岡山大学病院は、整形外科医師を3名、各一週間ずつ派遣しました。

①整形外科医師1名 平成 24 年 7 月 22 日～7 月 28 日まで派遣

②整形外科医師1名 平成 24 年 8 月 5 日～8 月 11 日まで派遣

③整形外科医師1名 平成 24 年 9 月 18 日～9 月 22 日まで派遣

【環境放射線調査への派遣】

東京大学と大阪大学の要請で、福島第一原発事故に伴い放出された放射性物質の分布状況等に関する緊急調査のため一本学自然生命科学研究支援センター技術専門職員 1 名が、福島県で支援活動を行いました。

【福島一時帰宅住民へのスクリーニング派遣】

文部科学省の要請で、福島県の放射能警戒区域へ一時帰宅する住民へのスクリーニングのため岡山大学病院放射線技師(GM サーベイメータ持参)を派遣しました。

● その他の支援

【物資支援】

・本学と鳥取大、島根大、徳島大、鳴門教育大、香川大、愛媛大、高知大の支援物資(食糧、飲料水、医薬品など)をとりまとめ、東北大に届けました。(平成23年3月19日)

・本学大学院教育学研究科は全国におけるESD推進の拠点となるユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASP-Univnet)加盟校である東北大大学院環境科学研究科の依頼を受け、教職員から防寒具や下着等を募集し、寄せられた物資(段ボール38箱)を東北大学に届けました。(平成23年4月1日)

【コンサルテーション支援】

・岩手県教育委員会からの要請と東日本大震災心理支援センターのコーディネートにより、本学の教員2名(日本臨床心理士会・岡山県臨床心理士会所属の臨床心理士)が宮古市内3小学校に入り、被災された児童・生徒・保護者の方々への心のケアや、学校に対する相談体制整備のためのコンサルテーションを行いました。(平成23年5月及び6月に2回(5日間)実施)

【セミナー・イベント等】

・本学廃棄物マネジメント研究センターは、被災地での廃棄物処理の取り組みを他の地域に活かす目的で、「東日本大震災の災害廃棄物処理の現状と課題」と題して、市民向けセミナーを開催しました。(平成24年1月24日)

・資源植物科学研究所とサッポロビール(株)と共同で、被災された方々を招待し、同社群馬工場において宇宙を旅した大麦の収穫体験イベントを開催しました。(平成24年5月28日)